

【内装専用】

ジョリパットゼロシリーズ  
エフェクト仕上げ  
施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	ジョリパットシーラー JS-90	1液水系アクリル白色シーラー	10kg/ ポリ容器	約40 m <sup>2</sup>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> <u>標準色</u> <u>JP-100T</u> <u>( ...数字 )</u> <u>特注色</u> <u>JP-100</u> <u>( ...英字、 ...数字 )</u>  <u>~ T3000 の淡色を</u> <u>推奨致します。</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約20 m <sup>2</sup>
エフェクト 専用塗料	JC-55	変性アクリル樹脂 水性塗料	15kg/缶	約75 m <sup>2</sup>
骨材	JF-3	寒水石(白竜)3厘	20kg/袋	約40 m <sup>2</sup>
	JF-74	合成マイカ	5kg/袋	約28 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg x 2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい(珪酸 JS-500、JS-800、石膏ボード JS-90 など)。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業㈱各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・仕上げゴテ(ステンレス製の腰が柔らかいゴテ)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)、石膏ボードなど

<エフェクト仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-90の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.25kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー、刷毛	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2.主材塗り

配 合	JP-100シリーズ	20kg
	JF-3	10kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	約1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>金ゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後、出た鋸波を消すように平滑に押さえてください。(図-1)</li> </ul>	

夏期 4時間以上 冬期12時間以上 乾燥

3.エフェクト上塗り

配 合	JC-55	15kg
	JF-74	5kg
塗 布 量	約0.7kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	ステンレスゴテ	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレスゴテで平滑に塗布して下さい。(図-2)</li> </ul>	

< 施工のポイント >

- ・主材塗りは薄く塗布し、全体を骨材が転がるように荒していき、その後、平滑に押さえてください。
- ・コテ波を消す工程は、薄く配り塗りしたジョリパット表面が乾燥する前に、コテを円状（図-1）に動かして押さえてください。コテの裏面が汚れていると、平滑に押さえることができないため、きれいなコテで押さえるようにしてください。

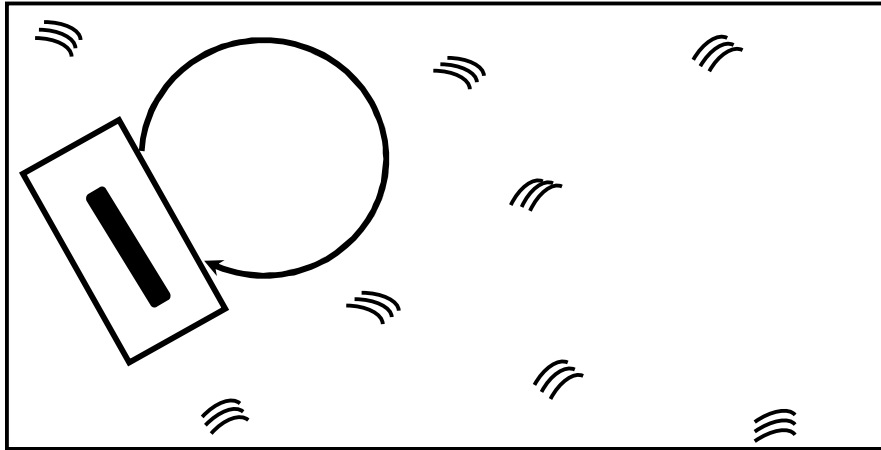


図 - 1

- ・ジョリパットの主材塗りが完全に乾燥したことを確認してから施工してください。
- ・エフェクト上塗りは、JF-74が均一に平滑になるように塗布してください。

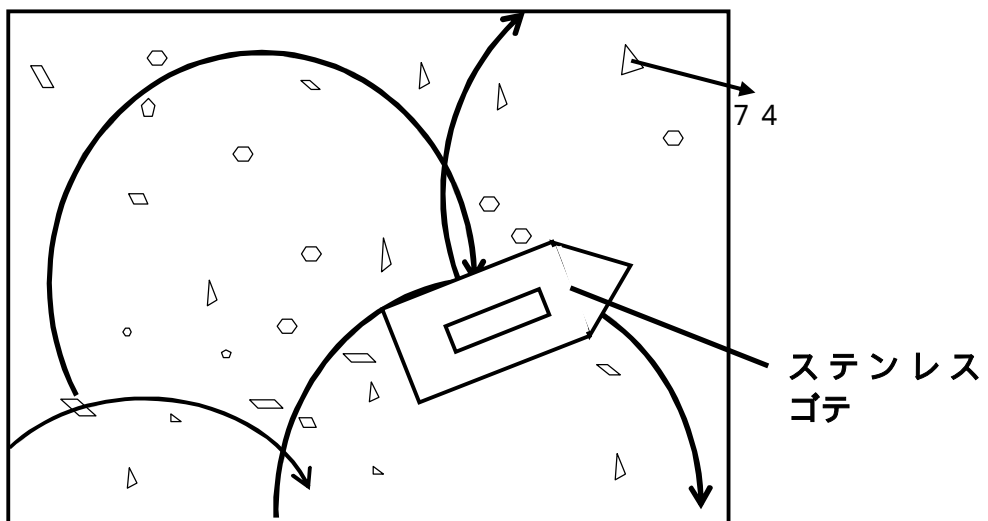


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・内装専用仕上塗材です。
- ・JC - 55にJF - 74を混ぜる際は、静かに攪拌して下さい。勢いよく混ぜるとJF - 74が飛び散ります。
- ・エフェクト専用塗料JC - 55は水希釈しないで使用して下さい。水で希釈すると塗料のダレが発生します。
- ・エフェクト仕上げの主材には、～T3000番台の淡色を推奨します。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温5 以下、湿度85%以上、結露などが予測される条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上